

短歌

末武 有二 選

夏陽あみ力みなぎりすくつとたつ供華に切り  
をり大輪ダリア 安永 守住 孝子  
過ぎし日はまばろしなるや姉逝きて新盆むか  
え思い出なぞる 惣領 島田 廣子  
山道の杉の上鴉いて鳴き声真似る妻の声よ  
し 惣領 垣野 幸一  
一年に一度の逢瀬も雨となり織姫彦星悲しか  
ろうな 木山 本田 龍子  
鳴る神がクアラクアラと空を裂き焼けたトタ  
ンの騒がしき雨 木山 赤城 香織  
寂しさにふと西の空眺むれば昨日と同じ夕日  
沈まる 広崎 大原 郁  
大雨に浸かって折れた稲の苗真夏の陽浴び緑  
増しくる 惣領 甲斐 道夫  
湯上がりにはバンコ取り出し夕涼み火花には  
しゃぐ孫の喜び 赤井 増岡 伸禧  
夏祭り久し振りに集まりて踊りも出店も大い  
に賑わう 広崎 日野ヒロ子  
油照り直射日光逃げまはる十三夜月光は窓へ  
まっすぐ 熊本市 境 眞木子  
忙しく支度整え用を足し今日も迎えるのデイ  
サービスに 逗子 荒井 澄幸

投稿は、一人一首(句)でお願いします。

俳句

河野 全平 選

朝顔を抱いて帰るや夏休み  
祖母みやげ昔ながらのホタル籠  
夏野菜どちらが先か虫と吾れ  
暑気しのぎ犬も風呂場で夕涼み  
大の字に寝ても眠れぬ熱帯夜  
老薬の恋に冷水世間体  
小魚をツマミに造る釣師かな  
こころ待ち台風一過大花火  
かかりつけの医師に相談この暑さ  
一句鑑賞  
本降りになって出て行く雨宿り

惣領 野宮 逸吉  
古閑 今村 恒心  
木山 本田 龍子  
惣領 野々口トミ子  
馬水 倉本研一郎  
赤井 増岡 伸禧  
木山 友田太公望  
宮園 中川セイ子  
菊池市 照屋 さと

川柳

布田川左門 選

【お題】 自由詠  
国技とは「外人」と知る相撲かな  
先生はAI塾も学校も  
人間がこわす地球の核戦争  
学問のすゝめから読書そるばんへ

【お題】 梅雨明け  
退屈な蓋押し上げて梅雨明けける  
左巻のやな台風がやってくる  
ご先祖も孫も帰らぬお中元  
天空を引き裂き雷の走るかな

一本刀士俵入  
公務員国家試験  
銀河鉄道999  
新資本主義

みなまた川柳会  
女性予報士  
ボツンと一軒家  
名物「吉野製農家」

次回のお題 「夏の終わり」

投稿は投稿者の住所、電話番号を必ず記入し、役場  
広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。



益城の文化財  
町文化財保護委員会

小谷

岳ヶ水水源水道の歴史②  
(小谷水道記念碑)

大正時代、岳ヶ水水源から小谷  
集落に安定的に給水するために工  
事がなされた記録があります。

一つは、『工事沿革』(矢野幸司  
氏執筆 大正15年6月)に記され  
ている水源からの鉄管による給水  
工事の記録。もう一つは、上小谷  
集落に所在する、『小谷水道記念  
碑』です。

後者の碑文には、「本水道は、大  
正末期に完成し、上・下小谷住民  
の生活と文化の向上に寄与するこ  
と大なり。爾後給水人口の増加に  
より谷合森に新たに水源地を設  
し今日に至るも、高遊原空港の開  
設に伴う諸般の事情から、高遊原  
地区簡易水道に統合され五十年の  
歴史を閉ず。」と刻まれています。  
記念碑の脇には貯水タンクも残っ  
ています。この碑文は、水道が  
大正時代から小谷集落水道として